

平成29年度 第2回 会津図書館協議会 議事録

日 時：平成30年3月14日（水）13：30～15：30

場 所：生涯学習総合センター3階研修室5・6

出席者

委 員 9名出席

事務局 館長他3名

1. 開 会

2. 挨拶

会津図書館長

会津図書館協議会委員長

3. 議 事（委員長を議長とし、進行）

（1）平成29年度後期事業実施状況について（説明：事務局）

<質疑応答>

議 長：会津図書館を使った調べる学習コンクール（以下：調べる学習コンクール）にはとても力作が並んだ。審査員長をされた委員に説明をお願いしたい。

委 員：今回（全国コンクールで）優秀賞を受賞した児童の作品は毎年内容の充実が図られている。他の低学年の子ども達の作品も視点が面白く、保護者の協力無くしてはできない。今後、この調べる学習コンクールが小学校へ浸透すれば教育の底上げになるのではないか。全国で優秀賞をとったことで、市内の小学校に、参加が広がって欲しい。各審査員も真摯に取り組んでおり、素晴らしいコンクールである。

議 長：こどもとしょかん内で作品展示を行っており、ぜひ見ていただきたい。

（2）平成30年度当初予算（案）について（説明：事務局）

（3）平成30年度事業実施計画（案）について（説明：事務局）

<質疑応答>

議 長：公民館（運営審議会委員）の方から何か意見等をお願いしたい。

委 員：戊辰150周年関連展示の中で、二本松市、白河市の図書館との観光情報エクステンションとはどういう内容か。

事務局：長岡市との観光情報エクステンションは、「戊辰150周年 河井継之助がつなぐ長岡と会津若松」をテーマに、河井継之助や長岡市の歴史、人物等に関する図書や観光パンフレットを展示する。白河市や二本松市についてはこれから協議する。

委 員：図書館以外の施設の案内も加えて欲しい。

事務局：郷土資料館、山本五十六記念館等のパンフレットも、何点か設置する。

議 長：他に意見はあるか。

委 員：図書購入費が大きく減額されているが、市の財政が厳しいということか。

事務局：市予算総枠が全体に3%程削減となり、それに伴い図書購入費も3%減となった。また、復興予算もほとんど無く、来年度の児童図書購入費は半減するが、事業については継続する。

議 長：ビブリオバトルが9月になったことについて、意見はあるか。

委 員：（会津ビブリオバトルの）開催日は9月17日で決定か。

事務局：ほぼ決定である。ビブリオバトル福島県大会本選が11月に開催され、今年は地区別の予選が開催される予定で、それに合わせて開催する。

委 員：夏休み前に参加者の募集をかけて、夏休みを準備期間とし、9月の本戦にあわせて調整するというスケジュールか。高校司書研修会でも会津地区全ての高校に対して

会の参加を募っており、研修会の日程が合えば、会津地区の高校へ（会津ビブリオバトルの）参加を呼び掛けられると思う。

(4) 第二次子ども読書活動推進計画 平成29年度実施報告について（説明：事務局）

委員：若松第二保育園でも3か月（0歳児）から絵本の読み聞かせ等を行っているが、保護者に対し0歳児から読み聞かせが浸透していない。市が行う健診と離乳食教室でのブックリストの配付率が100%なのは、とても良い。

1歳半健診と3歳半健診では、毎回保育士が絵本を持参し、読み聞かせを行うが、保育園で持っている本だけでは同じ本になってしまうので、会津図書館とタイアップして子どもの年齢にあった本の読み聞かせをできれば良い。

また、若松第二保育園は稽古堂の近くにあるため、今度（図書館を）利用したい。

議長：小学校の立場から何か意見はあるか。

委員：東公民館で、子どもたちの公民館見学の際には図書室も案内してもらっている。放課後こどもクラブや放課後こども教室の事業の中で、公民館図書室の利用促進に関わる事業があってもいいのではないか。

東山小学校では、定期的に家読を行う期間を設けて、本を読んだ感想を学校の廊下に掲示し、それを見て互いに学びあう取り組みを行っている。それがスムーズにしているのは、（家読の啓発事業を図書館で行っているという）後押しがあっこそだ。

調べる学習コンクールは、図書館で調べる喜びを得られ、リテラシーを高めるのにとてもいい企画だ。ただ、小学校へ様々なコンクールの募集案内が集まり、調べる学習コンクールだけに集中させることは難しいが、特におすすめとして参加を呼びかけたい。

小中学生の一か月間の平均読書冊数の指標を見ると、高学年の読書冊数が減少している。本以外のメディアの影響もあると思うが、学年が上がるにつれて、本のページ数が増え、読み終わるまで時間がかかるのではないか。冊数だけでは単純に（読んでないとは）言えない。

議長：先程公民館との連携という話がでたが、意見等はあるか。

委員：大戸公民館の図書室は、非常にきれいに整備されていて読みやすい。先日東公民館に行った際は、たまたま子どもはいなかったが、借りてる人数が固定されており、大変バラエティに富んだ読み方をしている。河東公民館もそんな印象だった。

「福島県学校図書館研究大会」で行われたビブリオバトルに参加したが、これは読書をこえて、弁論の勉強でもあり、非常に幅広い読書活動の一つだ。会津ビブリオバトルもぜひ見に行きたい。

委員：本当にレベルが高く、語り口調も持ち味があり、聞きごたえがあった。やり取りもレベルが高くて、学ぶものが多く、良いビブリオバトルだった。

議長：私も参加したが非常に楽しかった。中学生が自分の言葉で話すのを直に見られて、とてもいい良かった。他に意見はあるか。

委員：社会福祉協議会内のボランティアセンターで、ボランティアの活動についての相談を受けている。今年5月にボランティア学園を開校予定で、現在約120名の申し込みがある。図書館で必要なボランティア活動も、学園の中で紹介していく。人材育成だけでなく、活動の場までつなげることを考えてカリキュラムを作成しており、図書館とも連携していきたい。

また、図書館利用の際にスマホ等の機器の影響はあるのか。障がい者からすると、新しいテクノロジーは障がいを補う有効な部分もある。様々な制約があり、難しいかもしれないが新しいものにも対応できればよい。

事務局：図書館内に持ち込みパソコン席を設けている。電子書籍の導入は、課題の一つだが、図書購入費が減額され、図書と電子書籍を両方購入するのは中々踏み切れない。

また、障がい者の方を対象に、対面朗読室の中にデージー図書を読める機器を設置して広報をしているが、中々広まらない。ただ、ボランティアの方による対面朗読

は利用が多く、サピエから音声図書データをダウンロードして作成した録音CDの貸出は徐々に増えている。

議長：他に何か意見はあるか。

委員：赤ちゃんおはなし会やかたりべ会、外国語のおはなしのへやを見学したがボランティアの方が一生懸命活動されている。誰が参加するのか分からない事が、公共図書館の読み聞かせの難しさだ。参加者に喜んで、満足して帰って欲しいという思いが伝わるおはなし会だった。かたりべ会も会津弁でこの土地でしか語られない大切な言葉だ。

多くの事業を（行う）職員と、地域ボランティアの方々に支えられて、ここで育つ子ども達が大きく育っていくのではないか。ぜひこれからも続けて欲しい。

議長：ボランティア学園の申込者が、120名もいるとは知らなかった。様々な場所で活躍して欲しい。

委員：短大図書館の利用者には偏りがあり、小中高の時代に培われた読書力がそのまま活きている学生もいる。学内でビブリオバトルを開催したいが、参加者が集まらない。また、スマホを見ながら授業を受けたり、インターネットの情報をそのままレポートに書いたりする学生が結構多い。ビブリオバトルで積極的に発言し、自信をつけていく喜びを、小学校の高学年から広げていくのがポイントだ。

全国の調べる学習コンクールで優秀賞をとれた子は6年生で、（図書を使って調べることを）今後も続けるというのが大切だ。

子ども読書活動推進計画を見ると、職員・ボランティアの方を含め、とても積極的に活動しているが、図書購入費が削られている。これは短大の図書館もそうだが、まずシーリング（概算要求基準）の対象になるのは文化面で、商工観光はもっとお金を上げろという傾向がある。予算額を増やしていくには実績を数値で表せということになる。賞をとることだけが目的ではないが、いかにこの指標に数値を近づけるかということが、各担当課や学校関係者、我々含め、力を入れていかなければならない。子ども達の本を読む目が真剣になるように、色々なことを進めていきたいと思う。

議長：学生は教員が書いたもの（板書）を、スマホで撮影しているようで、手を使うことすらしなくなってきた。それだけ便利なものがあるということだが。

図書館を使った調べる学習コンクールの、子どもが沢山字を書いた作品を見ると、大変感心するが、どうしてそうなるのか。とても残念だ。

読むことと自分の思ったことを書くことは小さいときの習慣で、大事だと思う。少しでもすそ野が広がって欲しい。

事務局：出前講座のメニューに「図書館を使った調べる学習支援」と「ビブリオバトル出前講座」がある。「ビブリオバトル出前講座」は平成30年度からの新しい講座で、図書館職員が学校や地域に出向いて説明するので、ぜひ活用して欲しい。

委員：図書館を使った調べる学習講座の周知というか、講座を受講するかどうかで、かなり内容のまとめ方が違うのではないかと思う。

事務局：夏に実施している講座だが、今年度は二つの講座（初級・実践）を実施した。来年度は、内容を見直して、調べる学習に取り組んだことがない初級者向けの講座を増やす等内容を検討する。委員の方のご意見も参考にしたい。

(5) その他

平成30年1月4日より雑誌スポンサーを募集しているが、現在のところ1社から3誌の提供を受け、今月中には3誌を雑誌架に排架する。

4. 閉 会